



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレン海外事業報告会

故郷を追われて

—シリアとロヒンギャの子どもたちの今—

ロヒンギャ難民キャンプでセーブ・ザ・チルドレンが運営する「こどもひろば」のアートプログラムに参加したアンワラさん(14歳)

© Kristiana Manton/Save the Children

東京から、大阪から、
今できることを
一緒に考えてみませんか？

世界では、6人に1人の子どもたちが紛争や暴力の影響を受ける地域で暮らしています。故郷を追われ、避難生活を強いられている子どもたちのためにセーブ・ザ・チルドレンが行っている支援活動を、シリアとロヒンギャの子どもたちにフォーカスを当てて報告します。

日時・場所

東 7月20日(金) 2018年
19:00~20:45
京 情報オアシス神田

大 7月13日(金) 2018年
19:00~20:45
阪 グランフロント大阪

スピーカー



海外事業部 プログラム・コーディネーター

福原 真澄

国際関係、地域開発などを学び、NGO職員として2010年よりヨルダンでイラク難民やヨルダンの青少年に対する心理社会的支援、女性支援に従事。2012年からパレスチナ西岸で農業支援に従事。2016年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに入局し、東京事務所でシリア難民支援、モンゴル雪害支援等の緊急・人道支援を担当。



海外事業部 プログラム・コーディネーター

河本 愛美

大学院で紛争解決学を学んだのち、2014年より青年海外協力隊としてケニアの地方児童局にて、子どもの保護全般の業務に従事。2017年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに入局し、東京事務所でミャンマー子どもの保護事業、およびロヒンギャ危機の緊急・人道支援を担当。



Save the Children

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界120ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際NGOです。生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」がすべての子どもにとって実現された世界を目指し、約100年にわたり活動しています。

セーブ・ザ・チルドレン海外事業報告会

故郷を追われてーシリアとロヒンギャの子どもたちの今ー

世界では、6人に1人の子どもたちが紛争や暴力の影響を受ける地域で暮らしています。

そして、多くの子どもたちが故郷からの避難を余儀なくされています。

シリア危機が2011年に始まってから、7年が経過しましたが、シリア国内の状況は混迷を深め、故郷を追われて避難生活を送るシリアの人々の暮らしも厳しさを増すばかりです。紛争が始まってから生まれた子どもたちは、故郷の平和な状態を知ることなく成長していきますが、長びく危機に国際社会の関心は薄れつつあります。

また、私たちと同じアジアで起きているロヒンギャ危機。

ミャンマー・ラカイン州北部での人権侵害や暴力を逃れ、90万人以上のロヒンギャの人々がバングラデシュの Cox's Bazar で避難生活を送っています。しかしここでもまた、多くの子どもたちが、健康や安全が脅かされた生活を強いられるなど、さまざまな困難に直面しています。

今回は、セーブ・ザ・チルドレンが展開する2つの緊急人道支援事業を中心に、子どもたちを取り巻く深刻な状況や、それに対するセーブ・ザ・チルドレンの挑戦についてご報告させていただきます。

セーブ・ザ・チルドレンの活動をご支援いただいている皆さまをはじめ、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

東京開催

日時

7月20日 2018年
日(金)

[受付開始18:30] **19:00~20:45**

会場

情報オアシス神田 4Fセミナーハウス

東京都千代田区内神田多町2-4

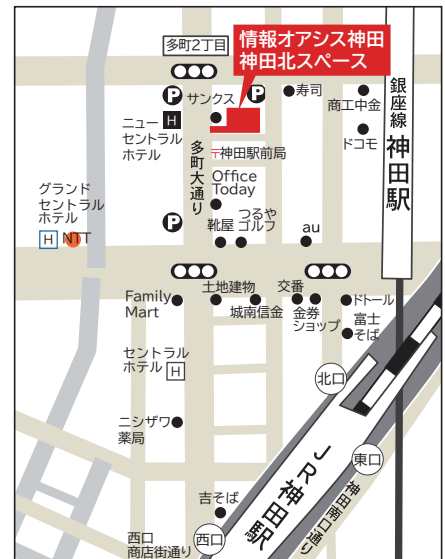
※神田駅から徒歩3分

定員

先着 **60名**

参加費

500円



大阪開催

日時

7月13日 2018年
日(金)

[受付開始18:30] **19:00~20:45**

会場

ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C07

大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪 北館タワーC8階

※大阪駅から徒歩10分

定員

先着 **60名**

参加費

500円



お申し込み方法

ウェブ申込フォーム(東京・大阪共通)、もしくはお電話にてお申込みください。



公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

東京 03-6859-0068 (平日9:30~18:00) 大阪 06-6232-7000 (平日9:00~17:00)

japan.donation@savethechildren.org

<https://goo.gl/JDQytQ>